

残席わずか

データ活用のための統計知識入門（4119291）

統計知識をなぜ学ぶかという、企業が有するデータを分析して何らかの知見を得るためです。「知見を得る」ことの最終目的は何らかの予測式(モデル)を得ることです。本セミナーは文系大学卒業者で、中学・高校で学んだ数学を忘れている方を対象に、数学・統計の基礎知識を学び、予測式の作り方の基礎とツールが計算した結果の意味・使い方を学ぶものです。

開催日時	2019年7月29日(月) 10:00-17:00
カテゴリー	業務遂行スキル 専門スキル
講師	梶山昌之 氏 (株式会社ワイハット 代表取締役 ITシステム可視化協議会(MCIS) 国際化担当役員) 1981年日本アイ・ビー・エム株式会社の製品保証部門に配属。ATMなどの製品保証を担当。また、ソフトウェア信頼性の研究を行い習熟S字モデルを発表。 2015年株式会社ワイハットを設立。アナリティクスのコンサルティングおよび教育活動に取り組む。 2016年PM学会誌にて「データをビジネスに活用する実践アナリティクス」を連載開始。 2018年PM学会にて「人工知能(AI)と統計モデル研究会」設立。
参加費	J U A S 会員/ITC : 33,000円 一般 : 42,000円 (1名様あたり 消費税込み、テキスト込み) 【受講権利枚数1枚】
会場	一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会 (日本橋堀留町2丁目ビル2階)
対象	文系大学卒業者で、中学・高校で学んだ数学を忘れている方 初級
開催形式	講義
定員	15名
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。(2時間1ポイント)
ITCA認定時間	6

主な内容

- 数学の復習
 - 確率、分布、指数、対数、行列など
- データ解析と統計解析・各種のデータ解析手法
 - 統計解析とは、データ解析とは、各種のデータ解析手法
- 統計の基礎知識
 - 基本統計量とは
 - データの代表値（平均、中央値、最頻値）、
 - 平均とは一加重平均、幾何平均
 - データの散らばり（分散、標準偏差、範囲）
 - 変数間の関係性（相関）
 - 推定と検定
- データの扱い方
 - データをなぜ扱うのかー予測モデル構築
 - データ解析の手順
 - 一変量の解析
 - 二変量の解析
 - 多変量の解析
 - 予測モデル構築の手順
 - 基本統計量算出
 - 層別検討
 - 散布図

- モデル化
- モデル検証

5 単回帰分析と重回帰分析

- ・単回帰分析と最小二乗法
- ・出力される事項の意味と使い方
 - 回帰係数
 - t値
 - P値
 - 寄与率
 - 相関係数
- ・なぜ重回帰分析か
- ・ダミー変数法